

日 時：平成 27 年 11 月 17 日（火）18 時 30 分 ～ 20 時 10 分

場 所：平賀農村婦人の家

対象地区：館山・松崎、松館、杉館

参加人数：13 名

■要望、質疑応答

内 容
<p>○健康づくりについて</p> <p>（市民からの要望・質問）</p> <p>10月に健康づくり宣言を行ったが、まだまだ市民に周知されていないと思う。今後周知していくためにイベントなどを考えているのか。</p> <p>（市の回答）</p> <ul style="list-style-type: none">・健康づくりはスタートラインに立ったばかりである。今までも健康チェック、保健師による巡回など様々な形で進めてきたが、青森県はもとより、平川市は早く亡くなる人が多い。重点的に進めたいと思っていることは、一つ目が1年に1回は検診を受けて早期発見に努めてもらうこと、二つ目が生活習慣を改善してもらうこと、三つ目が生涯を通して適度な運動を続けてもらうことの3つである。それに加えて心の健康を改善していきたい。・同じりんごの名産地でも、長野は全国一位で青森県は全国最下位だが、長野でも塩分摂取量は意外に高く、違いは検診受診率と青森県より100グラム近く多い野菜の摂取量である。・先日、金田小学校で食育の勉強があり、ひらかわ元気ファミリーの寸劇などを行った。このように小さい頃からの食育を進めるなど、皆さんからいいアイディアをいただきながら健康づくりに努めて行きたい <p>（市民からの要望・質問）</p> <p>高齢者は市役所まで行くのが大変なので、昔のように1か月に1度程度、町会まで保健師が来て健康チェックや食生活の指導をしてほしい。</p> <p>（市の回答）</p> <ul style="list-style-type: none">・大事なことなので前向きに検討する。 <p>（市民からの要望・質問）</p> <p>先日、行政委員の研修で横手に行ってきた。横手では合併により使われなくなった公共施設を市民が運動する場所として活用しており、とても良い取り組みだと感じた。お金もかかると思うが、健康づくりに関しては、もっと力を入れてほしい。</p>

(市の回答)

- ・新しい建物が建っていけば、使われなくなる建物も出てくるので、そういう建物を活用して運動の場を増やすことは非常に大事なので検討していきたい。

○ごみ収集箱について

(市民からの要望・質問)

配付していただいたごみ収集箱のおかげで、カラス被害も少なくなったが、木製のため老朽化が進んでいる。今後長く使っていけるよう、できれば金属製のものを作ってもらいたい。

(市の回答)

- ・ごみ収集箱と集積所の看板について、以前から要望があったため、市全域の状況調査を行った。木製でも1個5～6万円かかり、市内の集積所は約750あるため一斉に取り換えることは難しい。市が整備するのか、または補助制度とするのか、具体的なやり方については、調査の結果を踏まえてみなさんと相談しながら検討していきたい。
- ・看板は在庫があるので、順次整備していく。

(市民からの要望・質問)

今の収集箱は少し小さいので、もっと大きくしてほしい。

(市の回答)

- ・場所により道路にはみ出す場合もあるため、基本は現在の大きさとなっているが、地域の実情に合わせて最大限考慮するので、ご相談いただきたい。

○多面的機能支払交付金及びマイロード・マイタウン整備事業について

(市民からの要望・質問)

多面的機能支払交付金は28年度で終了の予定だが、29年度以降も継続となるのか。それに伴って、マイロードマイタウン整備事業はどうなっていくのか。

(市の回答)

- ・多面的機能支払交付金は国の政策であるため、今後どうなっていくのか現時点では分からないが、継続の要請はしていく。
- マイロードマイタウン整備事業は地域づくりをやっていく中で、地域の皆さんが自発的に行うものへの支援であることから、継続していきたいと考えている。これからも活用していただきたい。

○広報配布物について

(市民からの要望・質問)

人口が減り一人世帯が増えてきている。高齢で回覧板を隣に持っていけないため、いらぬという人もいる。市からの広報配布物は現在月2回だが、月1回にできないか。農協では月1回職員が配布している。

以前は月に1回の配布が市になってから2回になった。また、部数がまちまちなので、数を合わせてほしい。

配布物を数え終わった時に残数が合わない場合、束ねた後にもう一度最初から数えなければならぬ。

(市の回答)

- ・枚数については、注意して徹底させる。1か月という期間は長く、お知らせすることが増えてきていることから、月2回の回数を1回にするのは難しい。
- ・市民へお知らせする情報は多くなってきている。月によっては1回でいい場合もあると思うので可能かどうか検討する。
- ・合併前には500人以上の職員がいたが、国の指導もあり行財政改革を進めた結果、現在は325人である。国、県からの様々な情報が入ってくる中で、職員には市民のために色々なアイデアを出して政策を立案してほしいと思っているので、市民の皆さんには自分たちでできることは助け合ってやっていただきたい。コミュニティ育成事業奨励金やマイロードマイタウン整備事業などはその一環だと思っているので、お互い話し合っって役割を分担して進めていきたい。

○類似事業について

(市民からの要望・質問)

高齢介護課で実施したプールの事業に参加したが、同じような内容の事業を健康推進課でも募集している。一つの事業として対象人数を増やして実施すべきである。

(市の回答)

- ・健康推進課で実施していたプールの運動がとても健康に良いということで、介護でも取り入れることになった。対象となる年齢は違うが、結果として同じような事業の募集が2回となった。健康推進課、高齢介護課で目的と対象は少し違うが、募集の仕方等について検討するよう健康福祉部へ伝える。
- ・担当課としてそれぞれ考えがあるが、行政を運営していくうえで職員に5つのお願いをしている。一つ目は市民本位、二つ目は現場主義、三つ目は情報の共有、四つ目は新しいものへの挑戦、五つ目は職員同士の対話である。この姿勢のもとに進めていきたいと思っているので、みなさんからの意見を参考に、一つにできるのであれば、連携して調整していきたい。

(市民からの要望・質問)

地方創生はアイデア競争と同じである。300人の職員が一つアイデアを出せば、300のアイデアとなる。この懇談会でもたくさんのアイデアが出ると思なので、それを活かして小さくても住みやすい市にしてほしい。

(市の回答)

- ・まち・ひと・しごと総合戦略の策定にあたり、職員から100近くの提案があった。オリジナルナンバープレートや明後日から始まるイルミネーションプロムナード事業は職員のアイデアである。今後も職員提案制度などを活用し、アイデアを活かしていきたい。

○マイナンバー制度について

(市民からの要望・質問)

マイナンバーカードがあれば、コンビニで印鑑証明や住民票を交付してもらえるのか。また、マイナンバーのメリットは何か。

(市の回答)

- ・印鑑証明などのコンビニ交付は当面考えていない。マイナンバーのメリットは、市役所の中で情報を共有できるようになり、住民票や所得証明書などの添付書類が不要となるなど、行政サービスを便利に受けられるということである。
- ・また、違う自治体へ転出した際の手続きで、元の自治体の所得証明が必要な場合などもあるが、2年後にネットワークが整備されれば、国、県、全国の自治体とやりとりが出来るようになり、書類が不要となる。
- ・これからは、様々な制度の申請にマイナンバーを使うことになるので、通知カードは大切に保管していただきたい。
- ・マイナンバー制度の目的の一つとして、資産や所得の把握が挙げられる。勤め先にマイナンバーを知らせる必要があり、所得を隠すことが出来なくなるため、国が国民の所得を把握しやすくなる。また、2018年に預金口座への任意適用を始め、2021年以降には義務化を検討している。
- ・今届いているのはマイナンバーの通知カードである。個人番号カードは申請すれば交付されるが、必要が無い場合申請は不要である。通知カードでマイナンバーを証明する場合、運転免許証など身分の提示が必要であるが、個人番号カードは1枚でマイナンバーを証明できるほか、身分証明書としても使える。
- ・今後様々なサービスが付加されていく予定だが、サービスが増えれば増えるだけ、悪用された場合の危険性が高くなっていくことなどが懸念される。

(市民からの要望・質問)

神社は法人になっているので、法人番号の通知が届くとのことで、神社庁から配達の際

に不在票の受け取り用に郵便受けを設置してほしいと依頼があった。

(市の回答)

・ 神社の法人番号については、神社庁か郵便局に問い合わせさせていただきたい。

○除雪について

(市民からの要望・質問)

去年も話になったと思うが、この辺りの除雪は午後12時頃に行われるため、除雪の後に雪が降り積もる場合もある。午前3時とか4時頃の時間にできないか。

県道は大きい除雪車があるが、松館のような小さい町会は来ない場合が多く、除雪されていない状態で通勤しなければならない時もある。

除雪車は来ているが、早く来るため、その後に積もって除雪されていないような状態になる。

(市の回答)

・ 地域によって多少異なるが、午後10時以降10センチ以上の積雪が予想される時に業者の判断で除雪を開始できることになっている。通勤・通学前に作業を終わらせる必要があり、担当区の中で順番に除雪していくため、早い時間に除雪される区域もある。除雪の結団式の時に業者に伝えるが、丁度よくいかない場合もあるのでご了承ください。

(市民からの要望・質問)

市道を除雪する業者の数が少ないのか。業者数が少なくて範囲が広くなれば時間がかかるが、多ければ短時間で除雪が終わるのではないか。

(市の回答)

・ 以前と比べると2社多くなっており、業者数は適正と考えている。前は49工区、今は52工区あり、多いところで1者4～5工区、小さいところで1工区を担当し、それぞれ分担して除雪を行っている。

(市民からの要望・質問)

歩道の除雪後に県道の除雪車があるので、歩道にまた雪が押される。毎年お願いしているが、お願いした後の少しの間はいいが、すぐに同じ状態になる。除雪の方向を変えれば解消されると思うので対応をお願いしたい。

(市の回答)

・ 県道を請け負っている業者によっても違いがあるので、連携して作業してほしいという要望を毎年出しているが、丁度よくいかない場合もある。

- ・ 1工区あたりの距離が長く、作業終了の時間が決まっているため、除雪が早くなる区域が生じる。
- ・ 担当課にできるだけ調整するよう伝える。

○LED 防犯灯について

(市民からの要望・質問)

LED 防犯灯設置の工程表が届いた。館山・松崎町会は12月の下旬から1月中旬までの予定だが、進捗状況はどうか。

(市の回答)

- ・ これから着手して、3月までに設置が完了する予定である。天候等による遅れが無ければ工程表のとおり設置される予定となっている。

○松崎小学校近くの歩道の電柱及び側溝蓋の騒音について

(市民からの要望・質問)

去年も話したが、小学校近くの通学路の電柱について移設等の対応はまだか。

(市の回答)

- ・ 早急に隣接の土地所有者と交渉し、同意が得られれば東北電力に移設を依頼する。

(市民からの要望・質問)

歩道を反対側の側溝蓋の上にしてはどうか。そうすれば、側溝蓋の上を車が通る時の騒音も無くなる。町会要望を出しているが中々進まない。

(市の回答)

- ・ 早急に調査し、対応策について検討する。

○県道の要望について

(市民からの要望・質問)

県道関係の要望について、進捗状況はどうか。

(市の回答)

- ・ 県道について、市全体で22の要望を出しているが今年の一つも実施されていない。危ないところもあるので中南地域県民局に出向いて話をする。それで駄目なら県庁へ行って願う。

○やすらぎ聖苑の臭いについて

(市民からの要望・質問)

火葬でやすらぎ聖苑に行った時、収骨室の臭いがすごくきつかった。弘前も黒石もそれほど臭わない。

(市の回答)

・利用者から話があったため調査している。原因を特定して対応する。